

初期設定マニュアル

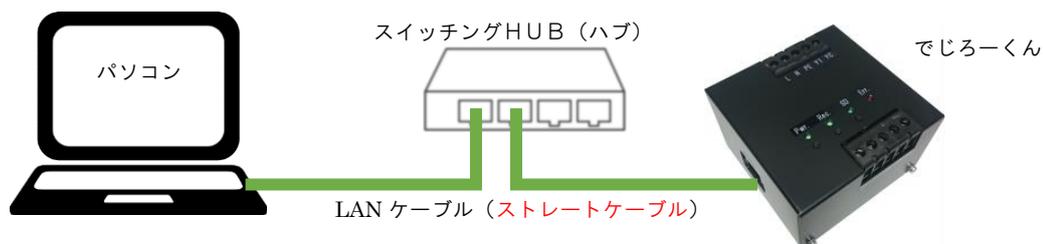
1. 適用

型式：LC1M-A1-※※00-0 (Ver.3.2以降)

2. でじろーくんへのパソコンWEB ブラウザーによるアクセス方法

(1) つなぎ方

【ネットワークを構成し、でじろーくん本体と複数台のパソコンやプリンター等を接続する場合を含む】

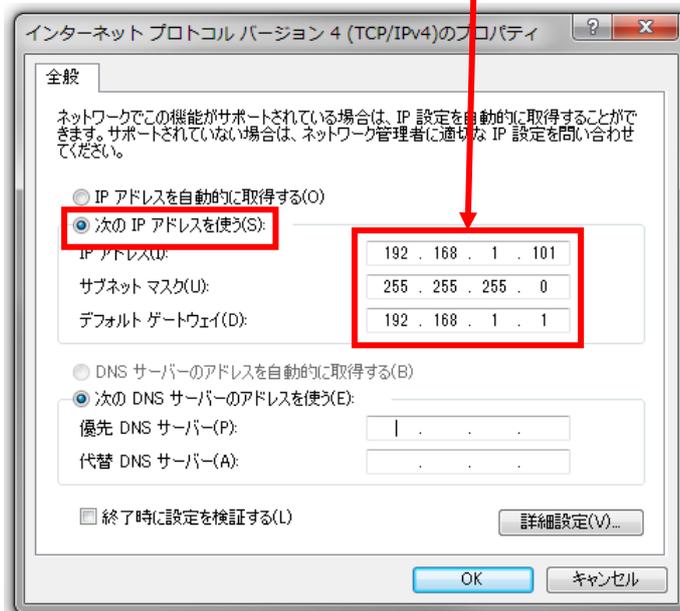


(2) ネットワークの設定

電源投入し、パソコンのネットワークのプロパティを設定してください。ネットワークのプロパティの設定方法は各 OS に従ってください。(以下は Windows®7 の例)

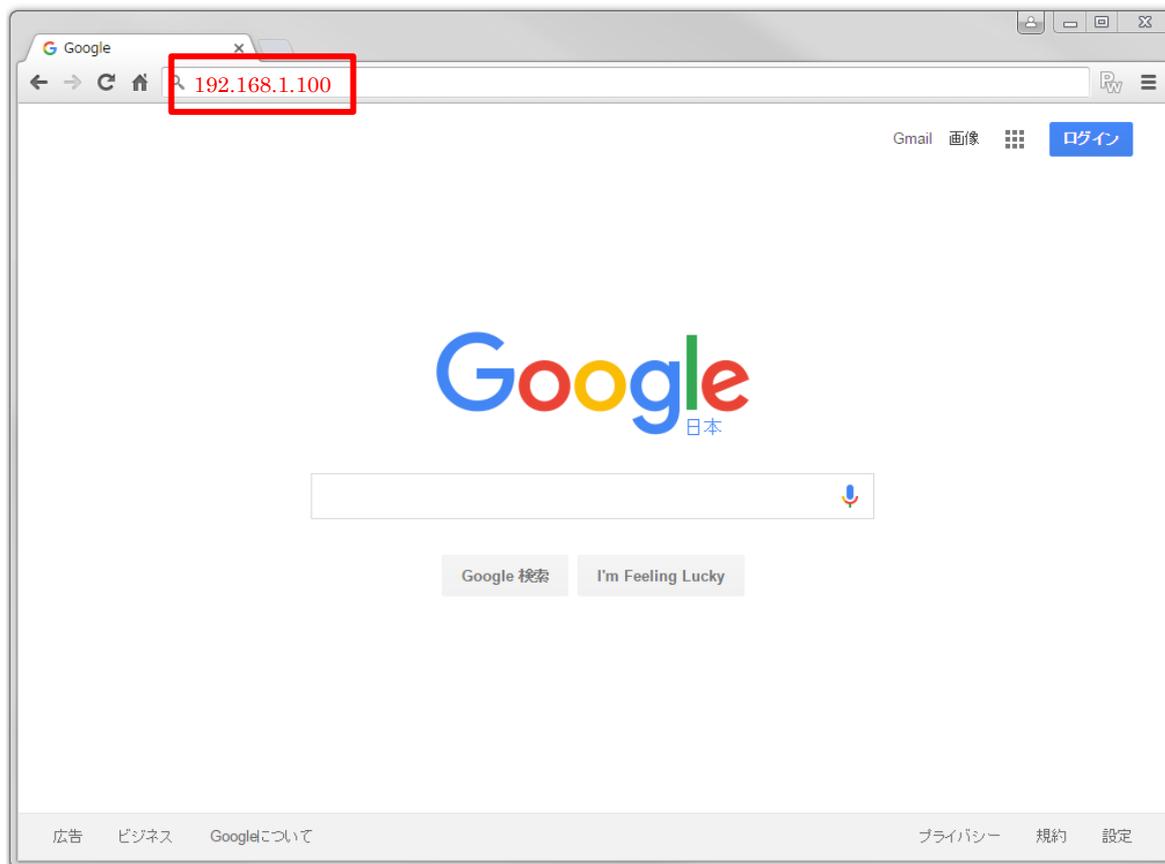


パソコンをネットワーク上の使用可能な IP アドレスに設定してください
(でじろーくん初期値での設定例)
IP アドレス：192.168.1.101
ネットマスク：255.255.255.0
ゲートウェイ：192.168.1.1

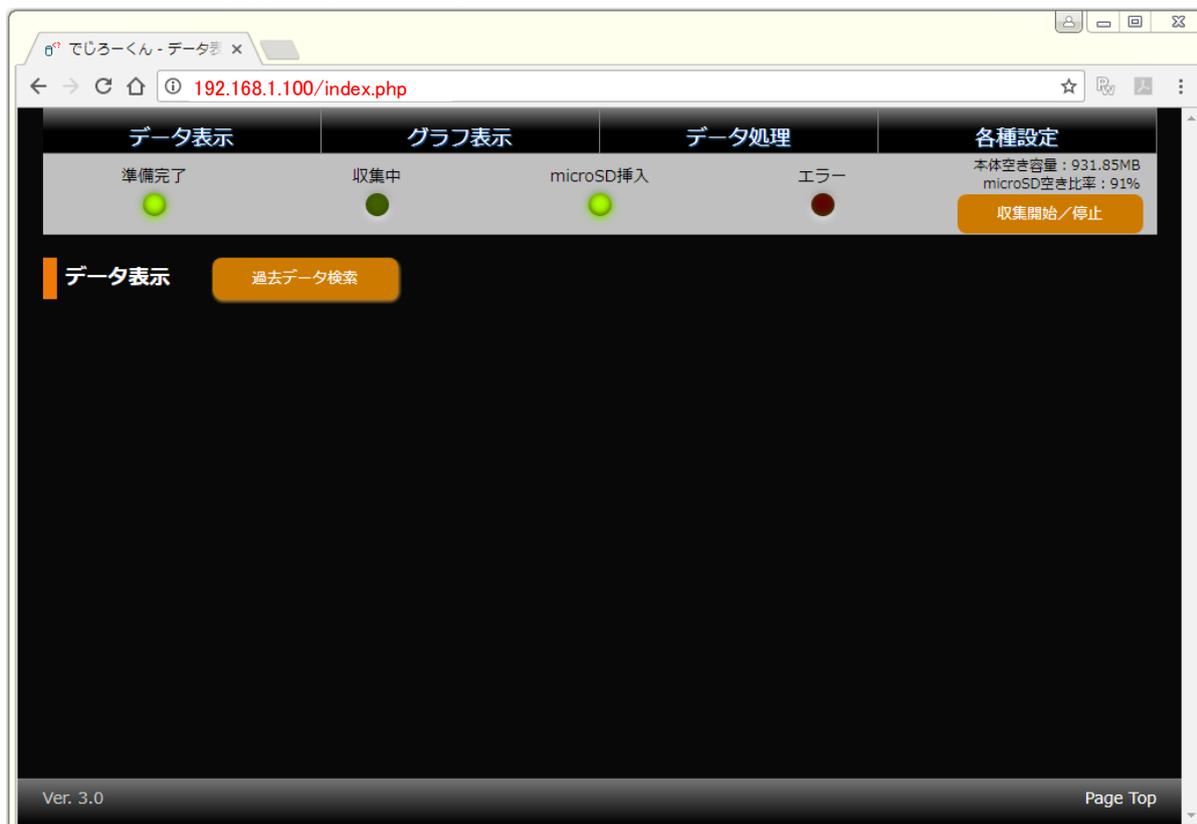


(3) でじろーくんへのアクセス

本体の初期設定および各種設定はWEBブラウザで行います。(本マニュアルはGoogle Chromeで表現します)
動作確認済みWEBブラウザはコミュニティサイト <http://www.dejirokun.com> をご確認ください。
パソコンのWEBブラウザアドレス欄に、でじろーくんのIPアドレス「192.168.1.100」を入力してください。
パスワードの入力を求められた際はユーザー名、パスワード共に「dejiro」と入力してください。



でじろーくんのデータ表示画面が表示されます。



3. 初期設定方法

(1) 設定画面へのアクセス

「各種設定」タブの「初期設定」ボタンをクリックください。



次のような表示がされます

次ページ、(2) ~ (8) の設定後、「設定の書き換え」ボタンをクリックすると本体設定を書き換え、自動で再起動を行います。データ収集中に「設定の書き換え」をクリックした場合、データ収集を自動停止し再起動します。再起動後、本体 Pwr. ランプ、WEB ブラウザーの準備完了ランプ点灯で、設定は終わりです。



初期設定をバックアップする場合、「エクスポート」ボタンをクリックすると、PDF ファイル形式で初期設定をエクスポートいたします。ただし、初期設定のバックアップデータはインポートできません。

(2) データ周期の設定

収集周期	機器のデータをデータベースに書き込む周期を秒で設定します (1~86400 秒、表示数期の倍数かつ表示周期≤収集周期) グラフ表示、データ処理、CSV ファイルへの書き出しおよび帳票の書き出しはこのデータ収集周期を使用します。
表示周期	データ表示画面のデータ更新、警報発生および解除に使用し、周期を秒で設定します (1~86400 秒)

(3) MODBUS 通信の設定

通信する機器 (スレーブ) 側と同じ設定としてください。

タイムアウト時間	機器側から無応答でエラーとする時間を設定します (10~10000 ミリ秒)
通信速度	通信速度 (ボーレート) の設定です。 (300、600、1200、2400、4800、9600、19200、38400、57600、115200bps)
パリティ	データの誤りを検出する機能です。 (E: 偶数、O: 奇数、N: なし)

(4) MC プロトコルの設定

でじろーくんに接続する MC プロトコルを搭載した PLC の設定を行います。

IP アドレス	PLC の IP アドレスの入力してください。使用しないときは空白にしてください。
ポート	PLC のポートを入力してください。

(5) DB サーバーの設定

保存先の選択が「内部モード」のときは設定の必要はありません。

「外部データベース」を使用するときは以下の設定が必要になりますが、ネットワークの構築及び設定は専門の知識を有する人が行ってください。

データベース名	外部データベースのデータベース名を入力してください。
サーバーIP アドレス	外部データベースサーバーの IP アドレスを入力してください。
サーバーポート	外部データベースサーバーのポートを入力してください。
ユーザー名	外部データベースのユーザー名を入力してください。
データベースパスワード	外部データベースのパスワードを入力してください。

内部 DB サーバー200 万件到達時の処理	「内部モード」のとき、でじろーくん本体の DB サーバー容量に限りがあるため、200 万件到達したときの処理を設定する必要があります。 古いデータから削除し継続… 200 万件を超えたデータを定期的に削除します データ収集停止… 200 万件に到達したとき、本体の収集を自動停止します
外部 DB サーバーの最大レコード数	「外部モード」のとき、古いデータから削除し継続します。 その際の最大件数を万単位で入力する必要があります。件数はサーバーのデータ容量と収集するタグ数等を考慮して決定してください。

(6) 外部入出力機能の設定

本体の外部入力と外部出力の機能を割り付けます。

入力 DI 端子	接点入力、X1-XC 端子間の機能を設定します。 入力無効 連続入力… 100msec 以上の接点閉の間、データ収集を行います パルス入力… 100msec 以上の接点閉で、データ収集の開始と停止を行います
出力 DO 端子	Ry 出力、Y1-YC 端子間の機能を設定します。 データ収集中… データ収集中 Ry 出力、データ収集中で接点閉、収集停止で接点開 エラー、警報発生時… 本体重故障発生時または警報発生時 Ry 出力、重故障発生・警報発生で接点閉

(7) メール通知機能の設定【オプション】

本体重故障発生時にメールで通知する機能の設定を行います。

メール通知機能	メール通知機能を使用する場合は「使用する」、使用しない場合は「使用しない」を選択してください。
SMTP サーバーIP アドレス	メール通知機能を使用する場合は送信メールサーバーの IP アドレスを入力してください。
SMTP ポート	メール通知機能を使用する場合は送信メールサーバーのポートを入力してください。
ユーザー認証方式	メール通知機能を使用する場合はユーザー認証方式を選択してください。
ユーザー名	ユーザー認証を使用する場合は入力してください。
パスワード	ユーザー認証を使用する場合は入力してください。
メール件名	メール通知機能を使用する場合は送信されるメールの件名を入力してください。
送信先アドレス名 1	メール通知機能を使用する場合は送信先のメールアドレスを入力してください。
送信先アドレス名 2~5	複数のアドレスにメールを送信する場合はメールアドレスを入力してください。
警報発生時メール送信遅延時間	警報発生から設定された時間 (秒) の間、連続で警報が入った時に警報発生メールを発信します。設定が 0 の時は、警報発生時にメール発信を行います。
警報解除時メール送信待機時間	警報解除から設定された時間 (秒) の間、連続で警報が解除されたときに、警報解除メールを発信します。設定が 0 の時は、警報解除時にメール発信を行います。
定刻メール通知の基準時間	設定された時間に最も近い各タグの最新収集データをメールでお知らせします。
定刻メール通知に送信周期	基準時間から設定された時間おきに各タグの最新収集データをメールでお知らせします。

「テストメール送信」ボタンをクリックすることにより、メール通知機能を使用する時に設定したメールアドレスに正しくメール送信ができるかどうかのテストメールを送信します。

(8) タイマー運転機能の設定【オプション】

でじろーくんが収集開始停止する時刻の設定を行います。

タイマー運転機能	タイマー運転機能を使用する場合は「使用する」、使用しない場合は「使用しない」を選択してください。
運転開始時刻、終了運転時刻	曜日ごとにタイマー運転開始時刻とタイマー運転終了時刻を設定できます。 曜日をまたいでデータ収集したい場合は、またぐ箇所の時刻を「--:--」のままにしてください。 例) 月曜日の8:00～金曜日の17:30まで設定する場合

タイマー運転機能

タイマー運転機能: 使用する 使用しない

月曜日 運転開始時刻:	<input type="text" value="08:00"/>	月曜日 運転終了時刻:	<input type="text" value="--:--"/>
火曜日 運転開始時刻:	<input type="text" value="--:--"/>	火曜日 運転終了時刻:	<input type="text" value="--:--"/>
水曜日 運転開始時刻:	<input type="text" value="--:--"/>	水曜日 運転終了時刻:	<input type="text" value="--:--"/>
木曜日 運転開始時刻:	<input type="text" value="--:--"/>	木曜日 運転終了時刻:	<input type="text" value="--:--"/>
金曜日 運転開始時刻:	<input type="text" value="--:--"/>	金曜日 運転終了時刻:	<input type="text" value="17:30"/>
土曜日 運転開始時刻:	<input type="text" value="--:--"/>	土曜日 運転終了時刻:	<input type="text" value="--:--"/>
日曜日 運転開始時刻:	<input type="text" value="--:--"/>	日曜日 運転終了時刻:	<input type="text" value="--:--"/>

(9) ネットワークの設定

でじろーくん本体のネットワーク設定を行います。

IP アドレス	本体に割り付ける IP アドレスを入力してください。
ネットマスク	ネットワークのネットマスクを入力してください。
ゲートウェイ IP アドレス	ゲートウェイの IP アドレスを入力してください。
NTP サーバー	使用できる NTP サーバーがある場合は、NTP サーバーの IP アドレスかホスト名を入力してください。NTP サーバーが使用できる場合は、本体起動時に自動的に時刻合わせを行います。
優先 DNS サーバー	優先 DNS サーバーがある場合は、優先 DNS サーバーの IP アドレスを入力してください。
代替 DNS サーバー	代替 DNS サーバーがある場合は、代替 DNS サーバーの IP アドレスを入力してください。

IP アドレスを変更する場合、でじろーくん本体再起動後 WEB ブラウザーでアクセスするアドレスは、変更後の IP アドレスを入力し直してください。

初期設定の初期値は、仕様書を参照ください。

メール通知機能の設定について

◆ SMTP サーバーIP アドレスがわからないときの対処方法

※DNS サーバーが正しく記述されている場合

- ① ドメイン名 (例、mail.mycompany.com) を直接記載する

※DNS サーバーがわからないときで、ドメイン名 (例、mail.mycompany.com) がわかっている場合、Windows7 からの調査方法

- ① スタート→すべてのプログラム→アクセサリ→コマンドプロンプト
- ② “nslookup mail.mycompany.com”と入力 (“”で囲った範囲)
- ③ Address が表記されるので、それを SMTP サーバーIP アドレスに記載する

◆ SMTP サーバーのドメイン名や SMTP ポートがわからないときの対処方法

Outlook2013 からの調査方法

- ① メールソフト (MS Outlook 2013) を開く
- ② ファイル→アカウント設定→電子メールタグ内の変更 「送信メールサーバー(SMTP)」がドメイン名または IP アドレスになります
- ③ 同じウィンドウの 詳細設定→詳細設定タグ 「送信サーバー (SMTP)」が SMTP のポート番号になります

◆ テストメールが送信できない (エラーが出る) 場合

- IP アドレスは重複しないように記載ください
- ネットワークが DHCP (IP アドレスの自動割り当て) の場合、DHCP の除外設定の中の IP アドレスをでじろーくんに振当ててください
- ゲートウェイ IP アドレスを正しく記載してください

4. タグ設定方法

(1) 設定画面へのアクセス

「各種設定」タブの「タグ設定」ボタンをクリックください。



(2) タグ設定

本体が実際にデータ収集を行う、でじろーくんの主機能の設定になります。

タグ設定とは本体に接続されているRS485機器 (Modbus RTU プロトコル) と、ネットワークで接続されているPLC (MC プロトコル 1E フレーム、3E フレーム) からデータを読み込みする時の、取り扱うデータ条件を定義したものになります。「データ表示」「グラフ表示」「データ処理」で使用するデータは、タグ毎に表示や収集が行われます。



タグ設定は次ページまたは WEB ブラウザーに表示される設定項目の説明を参照して行ってください。
また、各接続機器の RS485 通信仕様書や取扱説明書をご準備、ご理解の上、行ってください。
設定後に「タグ設定の書き換え」ボタンをクリックすると、本体にタグ設定が書き込まれます。その際、データ収集中の場合は収集を自動停止します。
タグ設定を中断するときは「タグ設定の再読込」ボタンをクリックすると、本体の設定情報を再読み込みします。

タグ名のつけ方について

- ◆ 一度データ収集したのちに、タグ名を変更すると別のデータとして認識します。
- ◆ 収集するデータは、次のような表示順になります。
 - 【タグ設定の入力順で表示されるもの】
 - ・ データ表示の並び
 - ・ グラフ表示のデータ選択の並び
 - 【ASCII コード順で表示されるもの】
 - ・ CSV ファイルへの書き出しの際、データの並び
- ◆ タグ名には全角文字、半角スペース、半角カナは使用しないでください。

《ワンポイント》

利用頻度の高いデータや、CSV ファイル内のデータ処理で後先考慮したい場合など、
“01_xxx” “02_yyy” “03_zzz” としておけば、先頭の数値順に並べることができます。

(3) タグ設定の項目と詳細

タグは、1行が一つの設定になります。

プロトコル	<p>必須入力項目です。この行のプロトコルを設定します。</p> <p>MB_RTU… データ収集対象機器が、Modbus RTU プロトコルのとき選択してください。</p> <p>MC1E… データ収集対象機器が、PLC の MC プロトコル 1E フレームのとき選択してください。</p> <p>MC3E… データ収集対象機器が、PLC の MC プロトコル 3E フレームのとき選択してください。</p> <p>#… コメント行のとき選択してください。この行の記述内容はデータ収集には使用されません。</p>
ID	<p>必須入力項目です。接続機器の ID (局番) を入力してください。</p> <p>プロトコルが MB_RTU のとき…Modbus 機器の ID を入力してください。(1~247)</p> <p>プロトコルが MC1E のとき…1 を入力してください。</p> <p>プロトコルが#のとき…入力は不要です。</p>
タグ名	<p>必須入力項目です。収集データの名前を設定します。</p> <p>【半角英数で入力ください(半角スペース除く)最大文字数は 20 文字です】</p> <p>同一のタグ名にならないように設定してください。</p> <p>前ページの「タグ名のつけ方について」を参照ください。</p>
コメント名	<p>収集データのコメント名です。タグ名以外の備考等でご使用になれます。</p> <p>【半角英数および全角入力可能です。(半角スペース除く)最大文字数は半角 50 文字です】</p>
種類	<p>必須入力項目です。収集するデータの種類を設定します。</p> <p>MB_RTU 選択時</p> <p>CO… Modbus のコイルです。機器が外部に ON/OFF 出力する DO や機器の設定スイッチなど、“0”か“1”2 値で内部変数として用いられます。(1 ビットデータ、ON で“1” OFF で“0”)</p> <p>IS… Modbus の入力ステータスです。機器が外部から ON/OFF 入力する DI など、変更できない“0”か“1”2 値のデータとして用いられます。(1 ビットデータ、ON で“1” OFF で“0”)</p> <p>IR… Modbus の入力レジスタです。外部から機器への AI や機器内の変更できない値など、16 ビット長のデータとして用いられます。(ワードデータ、16 ビットデータ、2 バイトデータ)</p> <p>HR… Modbus の保持レジスタです。機器から外部への AO や機器の設定値など、16 ビット長の内部変数として用いられます。(ワードデータ、16 ビットデータ、2 バイトデータ)</p> <p>MC1E、MC3E 選択時</p> <p>TS…MC プロトコルのタイマ接点です。(ビット)</p> <p>CS…MC プロトコルのカウンタ接点です。(ビット)</p> <p>X…MC プロトコルの入力です。(ビット)</p> <p>Y…MC プロトコルの出力です。(ビット)</p> <p>M…MC プロトコルの内部リレーです。(ビット)</p> <p>S…MC プロトコルのステップリレーです。(ビット)</p> <p>D…MC プロトコルのデータレジスタです。(ワード)</p> <p>R…MC プロトコルの拡張レジスタです。(ワード)</p> <p>TN…MC プロトコルのタイマ現在値です。(ワード)</p> <p>CN…MC プロトコルのカウンタ現在値です。(ワード)</p> <p>L…MC プロトコル (MC3E のみ) のラッチリレーです。(ビット)</p> <p>F…MC プロトコル (MC3E のみ) のアナンシェータです。(ビット)</p> <p>V…MC プロトコル (MC3E のみ) のエッジリレーです。(ビット)</p> <p>B…MC プロトコル (MC3E のみ) のリンクリレーです。(ビット)</p>
アドレス	<p>必須入力項目です。データ収集の対象アドレスを入力してください。</p> <p>MB_RTU 選択時</p> <p>10 進数での入力のみに対応しております。機器によっては 16 進数等で表現してあるものは 10 進数に変換した値を入力してください。</p> <p>例、0100H (16 進数) →256 (10 進数)</p> <p>MC1E、MC3E 選択時</p> <p>10 進数での入力に対応している種類</p> <p>TS、TC、M、S、D、R、TN、CN、L、F、V</p> <p>16 進数での入力に対応している種類 (A~F は大文字)</p> <p>X、Y、B</p>

データ型	<p>必須入力項目です。収集するデータのデータ型です。 サイズは BOOL 型を指定した時のみ有効です。</p> <p>BOOL… 論理型です。(1ビット:0か1) SHORT… 16ビット符号付き整数型です。(-32768~32767) USHORT… 16ビット符号無し整数型です。(0~65536) LONG… 32ビット符号付き整数型です。(-2147483648~2147483647) L_SWAP… 32ビット符号付き整数型です。上位ワードと下位ワードを入れ替えます。(-2147483648~2147483647) ULONG… 32ビット符号無し整数型です。(0~4294967295) UL_SWAP… 32ビット符号無し整数型です。上位ワードと下位ワードを入れ替えます。(0~4294967295) FLOAT… 32ビット単精度浮動小数点実数型です。(有効桁数7桁) F_SWAP… 32ビット単精度浮動小数点実数型です。上位ワードと下位ワードを入れ替えます。(有効桁数7桁)</p>
サイズ	<p>必須入力項目です。データ型が BOOL のみ有効な設定で、取得するデータの数を設定します。 【BOOL 型以外のデータ型を指定した場合は、1を入力してください】 アドレスで指定したデータを起点にして、サイズで指定した数だけデータを取得し、表示および収集します。</p> <p>例、MC1E の入力を X0 から X7 まで連続したビットデータで取得する必要がある場合、8 と設定します。取得データは半角カンマ (,) で区切られたデータとなります。(表示例 0,1,1,0,0,1,0,0)</p>
属性	必須入力項目ですが R のみ入力してください。
係数	<p>必須入力項目です。取得データに係数をかけ合わせます。(ゲイン) 例、データ型が SHORT 型で機器の表示は小数点第 2 位までの場合、係数を 0.01 と指定します。</p>
付加数	必須入力項目です。取得データに係数を足し合わせます。(オフセット)
警報の使用	<p>各タグで警報監視を行うかを設定します。ON に設定 (チェックあり) すると、初期設定の表示周期で、データが上限値もしくは下限値を超えたときに、警報出力を行います。</p> <p>データ表示の警報欄に正常時: 緑、警報発生時: 赤のランプが表示されます。</p> <p>初期設定の外部入出力機能にて、外部出力が「エラー、警報発生時」に設定されているとき、外部出力が有効になります。</p>
上限値	<p>警報出力の上限値を設定します。【下限値<上限値】となるように設定してください。未入力の場合は上限値の警報設定は無視されます。</p> <p>設定範囲は-9,999,999~9,999,999 です。</p> <p>トレンド日報のトレンドグラフに、上限値が赤線で記載されます。警報の使用にチェックが入っていない場合もトレンド日報には上限値が反映されます。</p>
下限値	<p>警報出力の下限値を設定します。【下限値<上限値】となるように設定してください。未入力の場合は下限値の警報設定は無視されます。</p> <p>設定範囲は-9,999,999~9,999,999 です。</p> <p>トレンド日報のトレンドグラフに、下限値が青線で記載されます。警報の使用にチェックが入っていない場合もトレンド日報には下限値が反映されます。</p>
警報メール	<p>各タグで警報メールを送信するか設定します。ON に設定 (チェックあり) すると、指定されたメールアドレスに警報メールが送信されるようになります。ただし、警報の使用が ON に設定され上限値・下限値が設定されていること、また、初期設定のメール通知機能の諸設定がされている必要があります。</p>

タグを追加するときは最下行に、編集するときはセルに直接データを入力してください。選択範囲、Ctrl+C によるコピー、Ctrl+V によるペーストが可能です。

行削除または行挿入したい場合、その行の上でマウスを右クリックしてください。その後「上に 1 行挿入」か「行削除」を選択して左クリックしてください。

タグの最大数は 1000 としております。【Ver.2.2 以降】

タグ設定をバックアップする場合、または別々のタグ設定でデータ収集する場合など、一度作成したタグ設定を「CSV 書き出し」ボタンをクリックすると、CSV ファイル形式でエクスポートいたします。エクスポートされる CSV ファイルは、WEB ブラウザーで作成または編集しているタグ設定ではなく、本体に書き込まれているタグ設定の内容をエクスポートします。

また、設定の復元や過去にエクスポートした CSV ファイルで再設定する場合は、「ファイルの選択」ボタンで選択したのち「CSV 読み込み」ボタンでタグ設定をインポートいたします。インポートされた状態ではタグ設定は WEB ブラウザーで編集している状態です。本体には「タグ設定の書き換え」ボタンで書き換えます。



5. 帳票作成条件設定方法【オプション】

(1) 設定画面へのアクセス

「各種設定」タブの「帳票設定」ボタンをクリックください。



microSDを使用することで、帳票をmicroSDにPDFファイルにて自動作成することができます。

「帳票設定」ボタンをクリックすると、帳票出力設定が行えます。

(ア) 発行する帳票の設定

「PDFファイル作成する帳票」チェックマークおよび、「帳票を作成したいタグ名」をチェックボックスにて選択してください。会社名等、部門等は自由に記載いただけます。「帳票設定書き換え」ボタンをクリックすると、本体に帳票設定が書き込まれます。

尚、microSDが未挿入の時は、「PDFファイル作成する帳票」チェックマークを選択することができません。



(イ) プリンター設定と自動印刷

「プリンター設定」ボタンをクリックし、発行する帳票の種類、帳票を作成したいタグ名をチェックボックスにて選択してください。尚、「自動印刷する帳票」のチェックマークは、プリンター設定が完了していないと選択することができません。



プリンター設定ウインドウで、「プリンターの IP アドレス」を入力の上、プリンターメーカー発行の「プリンターのドライバファイル」(PPD ファイル、および、PPD ファイルを圧縮した GZ 形式ファイルに対応) を選択して、「設定実行」ボタンをクリックしてください。



例) ネットワーク上「192.168.1.150」のプリンター (OKI 社 C332dnw) を設定する場合



プリンター設定がされると「自動印刷する帳票」チェックマークが選択できるようになります。チェックマークにて自動印刷する帳票を選択し「帳票設定の書き換え」ボタンをクリックしてください。



(ウ) メールに PDF ファイルを添付

帳票オプションおよびメールオプションが選択された機種であれば、メールに作成した帳票を添付して送信することができます。

The screenshot shows a web browser window with the URL `192.168.0.110/configreport.php`. The page has a navigation bar with tabs: **データ表示** (Data Display), **グラフ表示** (Graph Display), **データ処理** (Data Processing), and **各種設定** (Various Settings). Below the navigation bar, there are status indicators for **準備完了** (Ready), **取集中** (Collecting), **microSD挿入** (microSD Inserted), and **エラー** (Error). A button for **収集開始/停止** (Start/Stop Collection) is also present.

The main content area is titled **帳票設定** (Bill Settings). Underneath, there is a section for **帳票作成条件設定** (Bill Creation Condition Setting) with a message: **データを正常に読み込みました。プリンター設定が完了しました。** (Data loaded normally. Printer settings completed).

The **帳票作成条件の設定** (Bill Creation Condition Setting) table is as follows:

帳票作成条件の設定	
PDFファイル作成する帳票:	<input checked="" type="checkbox"/> トレンド日報 <input checked="" type="checkbox"/> 品質日報 <input checked="" type="checkbox"/> 品質週報
自動印刷する帳票:	<input type="checkbox"/> トレンド日報 <input type="checkbox"/> 品質日報 <input type="checkbox"/> 品質週報 <small>プリンター設定済 (ポスト印刷はマスキング)</small>
メール送信する帳票:	<input type="checkbox"/> トレンド日報 <input type="checkbox"/> 品質日報 <input type="checkbox"/> 品質週報
帳票を作成するタグ名:	<input checked="" type="checkbox"/> 247_PV <input checked="" type="checkbox"/> 247_SV
会社名等:	<input type="text"/>
部門等 1:	<input type="text"/>
部門等 2:	<input type="text"/>

Below the table, there is a section for **帳票設定の適用** (Apply Bill Settings) with a button **帳票設定の書き換え** (Reset Bill Settings). Below that is a section for **プリンターの設定** (Printer Settings) with a button **プリンター設定** (Printer Settings).

6. オプション機器設定方法

(1) 設定画面へのアクセス

「各種設定」タブの「オプション設定」ボタンをクリックください。



(2) アナログ入力設定

設定する機器の ID を選択し、「設定の読み出し」ボタンをクリックすると、アナログ入力の設定状況を読み出します。

設定値の詳細についてはアナログ/RS485 変換器の仕様書等を参照ください。

設定後「設定の書き込み」ボタンをクリックすると、アナログ/RS485 変換器の設定情報が書き換わります。

「設定の読み込み」「設定の書き込み」いずれのボタンをクリックしたときも、収集を自動で停止します。



アナログ/RS485 変換器はそれぞれ 1 台毎に行います。

7. 時刻合わせ設定方法

「時刻合わせ」ボタンをクリックすると、WEB ブラウザー接続されたパソコン等の時刻に本体の時刻を合わせます。

本体の電源が遮断されたとき、約 1 週間は内蔵コンデンサにて時刻をバックアップしますが、バックアップ時間経過後は、時刻が初期値に戻ります。1 週間以上の電源遮断後に使用される際は、必ず時刻合わせを行ってからデータ収集開始してください。

また、使用中およびバックアップ中も時刻に誤差が生じます。必要により時刻をご確認いただき、「時刻合わせ」ボタンをクリックいただくか、自動的に時刻補正を行う場合は本体をネットワーク環境に接続いただき、3. (9)項 「初期設定」→「ネットワークの設定」にて NTP サーバーをご指定ください。



8. WEBパスワード設定方法

WEBパスワードを設定することで、WEBブラウザからでじろーくんへ接続をする際に、アクセス制限を設けることができます。
(アクセス時にポップアップでパスワードが要求されます)



9. でじろーくんアップデート方法

コミュニティサイトからアップデートファイルをダウンロードし、WEBブラウザ接続されたパソコンからでじろーくん本体のプログラムをアップデートすることができます。



10. ログのエクスポート

「ログのエクスポート」ボタンをクリックすると、でじろーくん本体の稼働状況やエラー発生状況などを記録している、テキストファイル形式のログファイルをダウンロードします。



11. WEB ブラウザーによる でじろーくん使用方法

WEB ブラウザーによる でじろーくん使用方法については、Ver 毎のオペレーションマニュアルを参照ください。オペレーションマニュアルは、コミュニティサイト <http://www.dejirokun.com> からダウンロードできます。

12. 初期設定項目の初期化方法

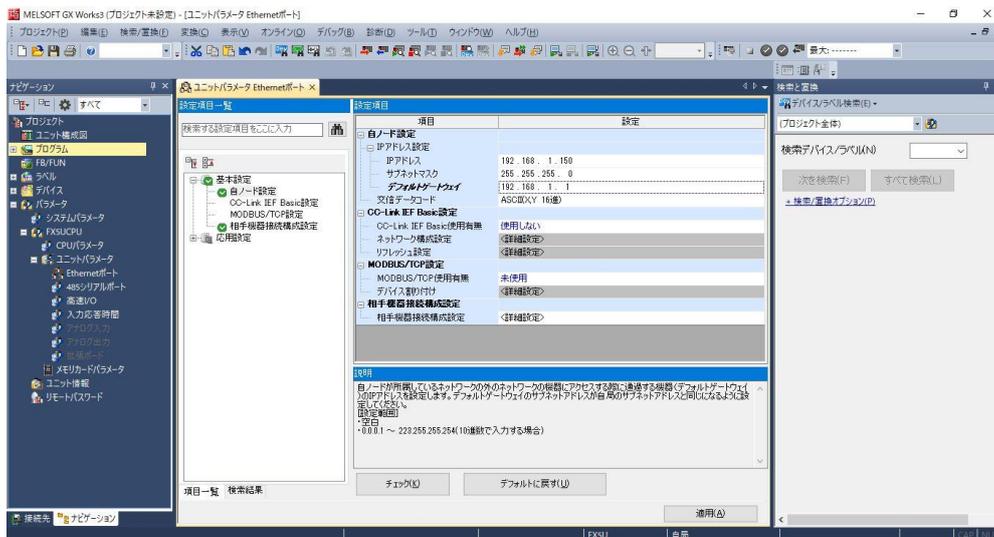
データ収集停止状態（Pwr ランプが点灯、Rec ランプ、SD ランプ、Err ランプが消灯）で以下の操作を行うことにより、本体の初期設定が初期化され、仕様書に記載の初期値に戻ります。

- ① 本体の SD ボタンを『10 秒間』以上長押しする
- ② 1 秒後に Err ランプが点滅した後、10 秒後に SD ランプと Err ランプが交互に点滅する
- ③ でじろーくん本体が初期化されて再起動します

エラー発生状態（Pwr ランプ（緑）、Err ランプ（赤）が点灯）でも、本体の初期設定の初期化は可能です。データベースのデータおよびイベントログは初期化されても消去されません。

1.3. 付録1 GX Works3のMCプロトコル設定

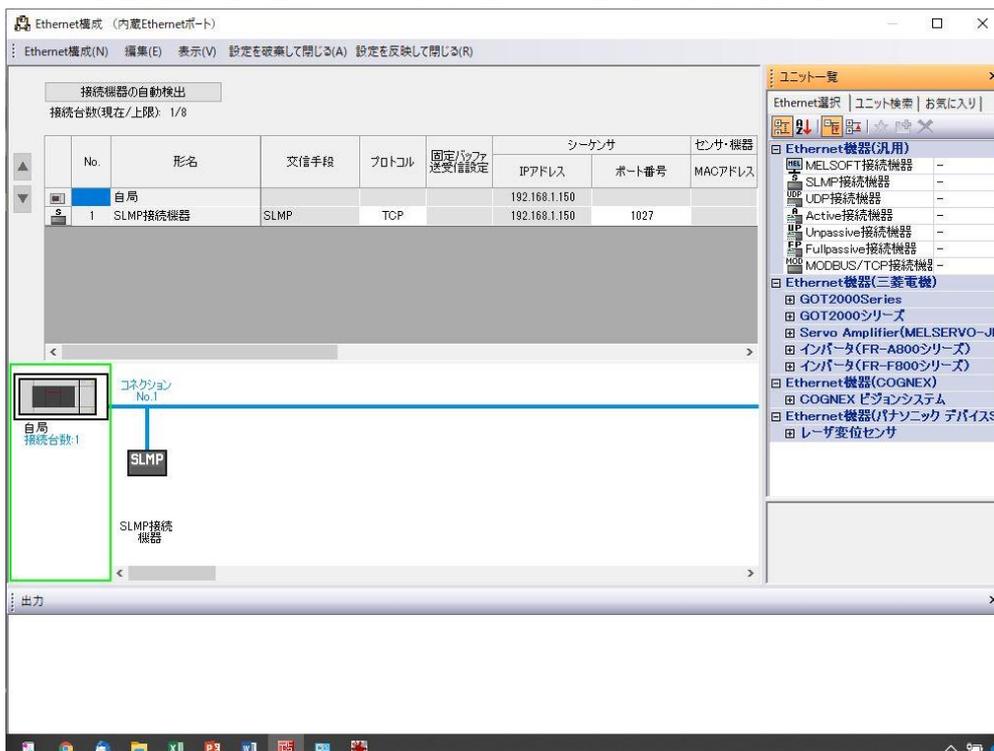
「プロジェクト」→「パラメータ」→「FX5UCPU」→「ユニットパラメータ」→「Ethernetポート」を選択する。
 「自ノード設定」→IPアドレス、サブネットマスクを設定する。
 通信データコード、例) Qシリーズの場合「ASCII(XY 16進)」に、FX5シリーズの場合「ASCII(XY 8進)」に設定する。



相手機器接続構成設定、<詳細設定>の「…」をクリックする。

新しい画面が開くので、画面右の「Ethernet 機器(汎用)」の + をクリックして、「SLMP 接続機器」を画面左の「自局」の右隣にドラッグする。

画面の上に「SLMP 接続機器」の行が追加されるので、その行のポート欄に「1025」を入力する。



画面最上部の「設定を反映して閉じる」をクリックする。

元の Ethernet の設定画面に戻るので、「適用」ボタンをクリックする。